—あなたと議会のホットライン—

しべつ議会だより

「成 人 の 誓 い」

1月7日、晴れて大人の仲間入りをした65名。
成人者を代表して大山剛君、西澤美香さんが新成人としての自覚を胸に力強く誓いを読みあげました。

一般質問　「小田桐町長 今期限り」…4～9

決算委員会報告「町民負担の公平適正化を」…10

決議「陸上自衛隊駐屯地等削減反対」…11

12月定例会

第113号

平成17年2月1日

平成16年　第４回定例議会

第４回定例会は、12月21日に招集され、会期を２日間として、補正予算５件、過疎地域自立促進市町村計画、公有水面埋立免許出願に関する意見書の提出2件、決算審査特別委員会に付記された平成15年度各会計決算についての委員長報告及び決議2件、意見書4件等が上程され、原案どおり可決されました。

また、一般質問は６議員が行ない、その中で小田桐町長が今期限りで町長選出馬を断念する表明をしました。

※補正予算の状況

（単位：千円）

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	227,391	6,331,305
国保会計(病院事業)	△ 1,204	843,707
介護保険会計(サービス勘定)	△ 411	40,631
簡易水道会計	2,495	351,634
下水道会計	△ 2,244	424,591

補正予算

〈一般会計〉

○広報公聴費
38・8万円
※広報紙発行枚数増

○老人福祉総務費
△41・1万円
※介護保険特別会計繰出金減

○老人福祉施設費
△180・5万円
※薫別老人憩の家事業費確定減

○障害者医療費
241・3万円
※高額医療費の増

○乳幼児医療費
145・2万円
※対象年齢引き上げによる増

○保健衛生総務費
19・1万円
※臨時雇用による賃金増

○診療諸費
△120・4万円
※病院会計繰出金減

○塵芥処理費
△776・9万円
※工事入札執行残等の減

○漁港費
2，395・9万円
※トイレ、市場の下水道工事費等

○海岸環境整備費
△3，066・9万円
※十七年度への事業繰越による減

○道路維持費
176・4万円
※道路台帳補正費

○道路新設改良費
△575・2万円
※事業費確定による減
（茶志骨南一号・南五号・古多糠北五線・崎無異鬼尾内線道路）

○下水道費
△150・2万円
※下水道会計への繰出減

○消防費
△391・3万円
※根室北部消防事務組合への繰出減

○中学校教育振興費
204・7万円
※吹奏楽コンクール及び中体連全道大会等出場経費助成金

○体育文化振興費
156・9万円
※全国及び全道大会参加助成金

○公債費
2億5，939・8万円
※公有林整備事業債の借換によるもの

○職員給与費
△1，576・9万円
※人勧及び寒冷地手当改訂による減

〈国保特別会計〉（病院事業）
△120・4万円
※人勧による給与改訂減

〈介護保険特別会計〉（サービス事業勘定）
△41・1万円
※時間外手当の減

〈簡易水道特別会計〉
249・5万円
※標津地区簡易水道事業認可変更業務委託料及び配水管漏水復旧工事等

〈下水道特別会計〉
△224・4万円
※十五年度分消費税の確定減等

標中のリコーダー演奏

その他

標津町過疎地域自立促進市町村計画について同意
※平成十七年度から二十一年度までの計画

公有水面埋立免許出願に関する意見書の提出について同意（二件）
※漁港海岸環境整備施設用地及び町単独施設整備用地確保のため

第七回臨時議会（10月25日）

人事案件

教育委員二名を選任同意する。

住所　標津町字川北南二線西一
氏名　大屋知行
生年月日　昭和二十四年十月十一日

◇

住所　標津町字川北九十三番地十一
氏名　菅原睦美
生年月日　昭和二十八年七月十八日

条例案件

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

任期　平成十六年十一月一日から平成二十年十月三十一日（二名とも）

※寒冷地手当の減額（国の基準を適用）

行政報告

小田桐町長

第四回定例議会（十二月）

◆陸上自衛隊標津分屯地を取り巻く情勢

分屯地三十ケ所を廃止する財務省試案が報道されたが、その後定員五千人の削減に止まり、標津も廃止・縮減に至らず、まずは安堵しています。

情報察知後、北海道代議士会及び関係省庁へ削減反対の要望を行ってきた。自衛隊の存在は、町の存亡も左右する大きな問題であり、今後とも存続に向け万全を尽くしたい。

◆国道三三五号線通行規制の経過について

国道、伊茶仁～忠類間の海岸浸食について危険が確認され警戒を強めていた。十一月二十八日に発生した低気圧および翌日に発生した地震により浸食が進んだため全面通行止めにし突貫工事で復旧に当たっていた。

現在、片側交互通行を確保し、全面復旧を急いでいる。山側に車線を九メートル移動し、今年度内に原形復旧させる予定です。

◆標津市街の内水氾濫対策について

防災道路と茶志骨桶門を結ぶ新たな築堤が平成十七年度に設置される見通しとなり、標津市街の水害への防災体制がより一層充実する。

◆農業について

各地で災害被害が多発する中、本町においては被害も少なく、比較的安定した中での酪農生産になった。牧草生産は平年を上回り、生乳生産は微減したものの、個体販売増で、総体の販売額は前年度並みの八十六億円になる見込み。

◆漁業について

鮭漁は、道全体では二五％を上回る大豊漁であった。本町においては、漁獲金額は昨年より微増となったものの、漁獲量で約三〇％も下回り、非常に残念な結果で終わった。隣接の羅臼漁協の水揚が二〇％も上回る大豊漁であっただけに、生産者各位の思いは察するに余りあります。高いふ化放流技術も、自然条件や河川・海洋環境が一体となって整った条件の中で成果が出ると再認識させられた。ホタテ漁については、順調な水揚と価格の上昇により、計画を二〇％上回っています。六千トン台の安定した漁獲は、平成六年から取り組んだ地場種苗体制の復活、野付漁場の単有化など「ホタテ漁業経営安定対策」の成果と思われる。

◆観光について

豊かな産業と連携したエコ・ツーリズム事業、修学旅行誘致や町内食堂が共同実施の「標津産品昼食体験ツアー」など、住民各位の積極的な事業意欲が、協働の成果として沈滞する地域経済に一筋の光明を見いだしている。

◆町工事の発注状況

本年度の執行は、五億七千五百万三千円全ての発注が終わり、現時点で一〇〇％の執行率となっている。

一般質問 Q & A

6人の議員が7項目にわたり町長・教育長に質問を行いました。

鈴木　誠議員

平成十七年度以降の町政執行の考えを伺いたい!!

◆平成十七年度町政執行について

Q 平成十七年度は本町財政に四億円余りの歳入不足を生じるとして、下水道料金の値上げも、との報道がありました。町長は住民負担を避けたいとしてきましたが、来年度以降の町政執行の考えを伺いたい。

A 標津町の経常収支比率が先般の北海道の公表では八〇%全道二一二市町村の中で三十七番目の良い数値を示しております。平成十年には六九%で全道八位です。健全財政の維持ということは町長の財政運営の基本的な姿勢ですが『同じ借金するにしても良質な借金を』つまり元利償還に交付税が算入される制度を活用し、これ以外に借入れしない姿勢を貫いている。

Q 町長の進退に関わる報道がありますが真意を伺いたい。

A 私は、昭和六十年に町長に就任させていただいてから、明年の六月二十三日の任期切れをもちまして五期二十年間町政を担うこととなる訳でございます。この間、議員の皆様、住民の皆様には大変なご支援とご協力をいただいた訳であります。

私はそういう意味におきましても、今期をもって後進に道を譲って行くという固い決意でおります。

◆災害情報等について

Q 標津町は、地震発生時の震度情報がテレビなどで速報されていません。根室管内一市四町で気象庁から震度発表がないのは標津町だけです。早急に気象庁とデータを共有すべきと思いますが、いかがでしょうか。

また、冬場の避難態勢、特に暖房設備、毛布の備蓄等をお聞かせください。

A 釧路地方気象台又は根室支庁等に対して要望して参りましたが特に昨年九月二十六日の十勝沖地震の発生を機に更に強く要望を繰り返してきた所です。この様な中で今般一部の新聞報道に文部科学省が来年度補正予算、新年度予算等において現在震度速報のない道内七十八市町村を含め道内に設置の強震計一八五箇所全てを更新し震度速報のネットワーク化を推進する。

暖房設備は避難施設二十三箇所に設置され、毛布は真空圧縮毛布を五百枚用意しております。

なお町民の皆様には非常携行品として、①三日間程度の水と食料品②着替えや防寒着③医薬品④懐中電灯⑤携帯ラジオ、防災無線戸別受信機を準備していただきたい。

Q 地震の長期評価によれば、この二十年間十勝、根室沖で起る地震発生確立は六〇%から七〇%に上がっているといわれる。

これは地震がいつ起きても不思議ではない状態であり、本町としても、より一層の防災対策を講ずる必要があると思うが、いかがでしょうか。

A 「明日、大地震が起きても不思議ではない」といわれているマグニチュードの規模でありますが、大変な問題です。マグニチュード七までは現在の住宅等は維持出来ると考えますが、根室から択捉島にかけて地殻変動が活発になってきている事態を強く受けとめながら今後、訓練とか情報を把握し十分に配慮して行かなければならない。

自衛隊による災害時の給水訓練

患者さんの視点に立った病院施設の改善を!!

小川悠治議員

Q

標津病院は、初期医療の役割を充分果たし、町民に安心感を与えています。一方、厳しい自治体病院経営は標津も例外ではありませんが初期地域医療の重要性から施設の一部を改善し患者さんの利便を計って欲しい。

◆浴槽の改善について

入浴は入院患者さんの数少ない楽しみの一つでもあります。しかし、現浴槽の段差が深く、足腰が弱く屈伸力の弱い患者さんにとっては飛び下りる状況になり、危険で入浴に支障をきたしています。また、浴槽に入る階段と手摺りが洗い場と別位置にあるため、移動が非常に不便であり危険も伴っています。

入院患者さん本位な改善を要望します。

◆入院患者用トイレの改善を

入院患者用トイレは便座の位置が低すぎ、体力の落ちた車椅子使用の患者さんにとって中腰から落ちる状態での利用になり非常に危険です。

また手摺りも無く、立ち上がりに苦労しています。病気で体力が減少しても自尊心はあり、介助を受けることを好んではいません。

特に、トイレでの介助要請は出来るだけ避けたいのが人情です。危険回避と、少しでも身体的・精神的苦痛を和らげるための改善を要望します。

A

平成六年当時、子供から高齢者まで体の自由が利く患者さんを想定して新築した。

厳しい財政下必要最小限での対応に理解願いたい。

◆浴　室

特別浴室（寝たきりと車椅子患者）と一般浴室がある。一般浴室利用でも病状により看護士が介助し細心の注意を払っている。

現浴槽が深いことから、補助器具により段差の解消を計るとともに、洗い場から入浴出来るよう対応したい。

◆トイレ

入院患者の高齢化が進み、車椅子でのトイレ利用が増加している。患者のプライバシー確保には細心の注意を払って介助している。

便座位置については補助器具にて対応したい。

手摺り設置については患者さんの状況を見極め、簡易な介護用品も多種あるのでそれにより対応したい。

車椅子回転スペースは充分とは言えないが構造上の問題から現状としたい。

Q

便座位置は他病院や施設より七㌢も低く、きつい位置である。

聞き取り調査でも、準備が間に合わなくて汚してしまうが人には言えないなど、苦労している意見が多数出ている。

だれでも自尊心はあり、トイレで苦労しているのは忍びない。

患者さんの意見を聞き、心の通った対応をお願いしたい。

病院経営の視点からも入院患者確保につながる大事なことである。

A

患者さんの声や思いが事務局に届いていなかった。

組織体制のあり方について率直に反省したい。

患者さんの思いをどのように汲み上げるか検討したい。患者さんには子供から病弱な方までいる。このことについて再検証し、財政も厳しいが、最小の経費で効果を上げるべく改善に努めたい。

小川祐司議員

今こそ歯舞・色丹・国後・択捉の四島一括返還を!!

Q プーチン大統領は「歯舞色丹の二島の返還を解決して北方領土問題の決着をはかる」報道がありました。わが国は領土を不法に占拠されてから五十九年間、あくまでも日本国有の領土として国後、択捉、色丹、歯舞諸島の一括返還を叫んできました。来春日本を訪問するプーチン大統領の訪れるのを最大のチャンスとして四島一括返還を実現すべきと考えます。

「日ソ共同宣言」で戦争状態を終了し、国交回復の道を開き平和条約締結のおり歯舞、色丹の返還、平和条約締結交渉のなかで国後、択捉の返還については話し合うことを合意している。国交の進んでいる今、新たな合意目標を設定して粘り強く交渉することが肝要と思う。プーチン大統領が急ぐようであれば、国後島、択捉島の土地だけの帰属を交渉する中身としてもよいと思う。

A 現状はその時々の相手国の国内情勢又二島か四島かの国内情勢に翻弄され現在まで一喜一憂がくりかえされている。今後のプロセスは別としても国民の付託は現在も一貫している。島民の思い、国益を損なうことなく、国民が理解し納得する中で解決されることが望ましいと考える。

Q 北方領土復帰期成同盟もプーチン大統領の訪問を機に二月七日になんらかのデモンストレーションがあると思う。標津町もサハリンの四千人集会的なものを行うべきと考える。

A サハリンで開催された集会の目的がなんなのか、その意図する所を深く掘り下げてみることも必要である。そのことに対抗して開催する意味あい、更に現在国、道、市町村の関係団体を挙げて返還運動をしている中でプーチン大統領の訪日が予定され、外交交渉が持たれるがこの事への影響も一つは考えなければならず、標津町の一存では決められません。

Q 「温故知新」、古きを訪ねて新しきを知る、大切な言葉である。北方の海で活躍した人々を人は「北方の勇者たち」と呼んでいる。中でも銅像表現をしてその遺徳を讃え後世に伝え、領土問題の解決に資することも教育上、貴重な所作であると考える。

A 領土教育、北方領土に関する歴史の啓発としての一面を捉えますと一定の効果を否定するものではありませんが現状においては直ちにこの事が必要かどうかは判断した時その評価は別れる所であります。趣旨は理解出来ますが事業効果の面より時期早尚であるという具合に受けとめ今後の課題としてお聞きし、気運が熟した時点で再考したい。

議会日誌

〈九　月〉

9日 第三回標津町議会定例会（本会議）
10日 第三回標津町議会定例会（本会議）
10日 広報特別委員会
11日 自由民主党第七選挙区支部二〇〇四年政経セミナー中標津町
12日 陸上自衛隊別海駐屯地創立三十九周年記念行事　別海町
13日 根室支庁管内町村議会議長会臨時総会　標津町
18日 平成十六年度標津はまなす苑「敬老会」
20日 標津地区十二町内会合同敬老会

〈十　月〉

6日 新潟県青海町議会視察来町
7日 三石町議会視察来町
8日 大規模草地一部事務組合議会
8日 根室北部衛生組合議

石橋昌幸議員

自立に向けた健康づくりはいかに!!

Q 標津町が自立に向かって考えなければならない一つに健康づくりがある。

多方面の方々が集まって健康づくりについて考え、話し合いをしているが医療費増大を考えると、町自体、元気町民・元気老人を増やすことが必要である。

今のままでは、何の改善にもならず、より一層高齢者介護予防事業、健康増進事業に力を入れていただきたい。

A 全ての町民が心身共に健康であることが自立を選択した町づくりの原点であると考えており、日頃から乳幼児から高齢者に至るまで健康増進、保健予防、介護予防、体力保持・保養の事業等町民が健康で心豊かな生活を送ることができるよう積極的に健康づくりを実施してきたところであるが、高齢者アンケート調査結果を踏まえ、今までやってきた事業内容を十分検討し、より一層元気高齢者づくりを目指したい。

国の政策も平成十八年度から新たな方針が示されるようで、町としてもこの制度改革を視野に入れて施策の展開をしなければならない。

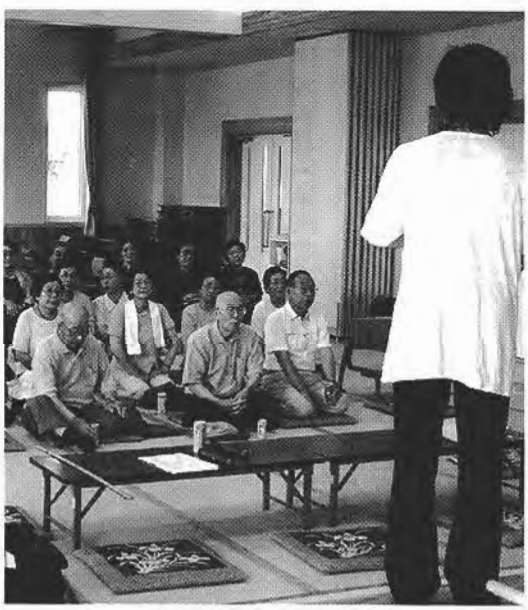
今までの健康づくりは「行政がムチを振って行われた」がこれからは「町民と行政が協働で進める」という考え方に変わりつつありますのでご理解をいただきたい。

Q 本町の保健師・栄養士・歯科衛生士が健康相談、健康づくり教室、検診等奮闘していることはわかりますが、全ての答弁は「進めなければならない」とか「実施したいと思う」という表現で新しい中味が見えてこない。

是非中味のある行動を期待したい。

A 高齢者の療養問題は国の最大の悩みでもあり、標津町でも同じである。

十分ご意見を尊重してまいりますので議員各位の厳しいご叱正をいただき、なお一層努力していかなければならない。



高齢者骨折予防教室

会
8日広報特別委員会
13～15日文教福祉常任委員会道内行政視察　奈井江町
17日第二十六回東京標津会総会・懇談会　東京都
18日広報特別委員会
21日薫別地区高齢者集会施設「憩いの家まんさく」落成祝賀会
25日第七回標津町議会臨時会
25日総務産業常任委員会町内行政視察
25日財務行政懇話会　標津町
27日決算審査特別委員会
28日決算審査特別委員会
28日根室管内林活議連研修会　別海町
29日決算審査特別委員会

〈十一月〉

1日決算審査特別委員会
2日決算審査特別委員会
4日道東四支庁管内町村議会議長会連絡協議会　留辺蘂町
5日根室管内町議会議員研修会　中標津町

安達　護議員

サーモンパーク事業の推移と今後の見通しについて!!

Q　標津町はサケの町として平成三年にサケシンボル施設サーモン科学館を開館しました。

これは大盛況になるかに見えましたが年を追うごとに入館者も減り六万人を切るところまできました。

今後出てくる補修や修繕、改修工事など入館料で賄うことが出来ず、一般会計を大きく圧迫する恐れは無いかと町民は心配しています。これまでの推移と今後の見通しをおたずねします。

A　本年度の入館者は六万人を割り五万七千人前後が予想される。原因は、施設の魅力など内的要因と、旅行者の好みの変化、景気停滞など外的要因が考えられる。一般会計からの繰り入れは、三千万円以内で推移している。今後の経営見通しとしては、人件費を含めて七千万円の経費予想に対して六万人から六万五千人の入館料が確保出来れば一般会計からの繰入金は三千万円前後となる。入館者をどれだけ上積み出来るかが課題である。年間三千万円の赤字でも標津全体の利益から建設は必要と、当時の議会で議決されている。

Q　修繕等の積み立ては平成二十年度からでなければ出来ないとされたが、抜本的な見通しが必要でないか。

A　建設公債費については五〇%が交付税で措置され、十九年度で建設費に対する償還は終了する。いずれ、建物の耐久性等全体塗装も含め大規模な改修が予想されるので、財源は、償還が終了する翌年の二〇年度からの積み立てを考えている。

Q　サケの町のシンボル、サーモン科学館。そこにそびえ立つ塔の上にサケの卵をイメージした三つのイクラはもはや標津のイクラでは無いと思います。

あんなに色褪せ白くなり死にかかっているイクラは町民皆様が愁いていると思います。活力のある標津にするためには、まずサーモンパークを活力ある物に是非ともしていただきたい。又、マリンプラザとの関係もお聞かせ下さい。

A　野付半島と中標津空港の関連を含め標津の海への魅力を持たしたい。

標津を通過する客、宿泊する客、観光の魅力もあれば観光でない魅力もありサーモンパークの静の機能とマリンプラザの動の機能により客を振り分け総合的に標津の利益を図りたい。

6日 中川昭一経済産業大臣を向かえての釧路根室管内期成会合同要望会　釧路市
6日 中川昭一政経セミナー　釧路市
7日 小池百合子内閣府特命担当大臣来根に伴う地元関係者からの要望会　根室市
8日 文教福祉常任委員会町内行政視察
11日 石狩郡当別町議会会派行政視察来町
16日 総務産業常任委員会
17日 第29回豪雪地帯町村議会議長全国大会　東京都
17日 第48回町村議会議長全国大会　東京都
17日 地方分権推進総決起大会　東京都
19日 第28回根室管内農業賞表彰式　中標津町
20日 武部勤自由民主党幹事長を向かえての要望会　釧路市
20日 武部勤政治フォーラムイン釧路　釧路市
29日 公務災害補償当組合臨時会　札幌市
29日 北海道町村議会議長

若年層の人口減少対策は!!

吉田浩一議員

Q 過疎の町であっても住民が住みやすく活力に溢れていることが将来につながる条件であり、住民の思いや願いがバランス良くまちづくりに反映させることにより町内外の定住希望も出てくると思います。

◆減少著しい若年層の人口対策は

A 若年層の人口流出対策として雇用の確保が重要であり、町では企業誘致や企業奨励といった制度により雇用の場の確保を図ってきました。

今後も企業誘致を進めていく訳ですが経済状況もあり、地元の産業・事業者と連携し新たな起業の振興に期待しています。

◆何故できない、ゼロ歳児保育

Q 保育サービスの充実を提言してから九年が経過しているが未だにゼロ歳児保育が実現していない。

低収入時代に入り子育て費用の増大は女性の社会進出と共働きとして家計所得の確保が必要になっている。

A 現在の施設状況として標津双葉保育園では対応できません。川北つくし保育園では新築時にゼロ歳児対応可能となっていますが運営面でゼロ歳児三人に一人の保育士の配置や疾病予防などの特別な対応が必要であり、今後保育ニーズにより検討します。

◆標津市街地拡大計画の投資と効果は。定住者負担は

Q 町外からの定住促進として町有地の宅地分譲が進められようとしている。

インフラ整備など多額の費用が必要である。事業規模や定住者負担について町内者を考慮した事業にするべきだと思います。

A 都市を離れ自然を満喫できる豊かな田舎暮らしをめざして現在十二・八ヘクタールを造成中で平成十七年度中に第一次の工事完了を予定しています。

道路・上下水道などの整備は過疎債など有利な起債を利用し、人口増・税収増・地域経済の活性化に寄与するものと思います。

◆中心市街地町有地の宅地などへの対応は

Q 市街地拡大は密度のあるものでなければ意味がない。宅地提供できる町有地について定住促進の観点で対策を講じるべきである。

A 標津・川北市街地の町有地について宅地開放可能なものを町内在住者に提供を考え検討してきましたが、インフラ整備に多額な費用を要するため、町有地の一部について現状で提供することとしています。

心豊かな田舎暮らし▼

〈十二月〉

6日 広域連合議会別海町会理事会　札幌市
8日 総務産業常任委員会
8日 文教福祉常任委員会
9日 大規模草地一部事務組合議会
9日 根室北部衛生組合議会
9日 根室北部消防事務組合議会　中標津町
9日 中標津町外二町葬斉組合議会　中標津町
10日 標津町総合表彰式
14日 議会運営委員会　別海町

委員会の動き

総務産業常任委員会
文教福祉常任委員会
決算審査特別委員会

総務産業

十月二十五日に事務調査として町内視察を実施。

視察事項

- ●最終処分場（崎無異）
- ●暗渠排水実証試験地
- ●はまなす苑増設施設
- ●公営住宅（若草団地）
- ●漁港整備状況
- ●マリンプラザ背後施設
- ●町有地宅地処分可能地
- ●望ヶ丘公園「木の実のなるエリアづくり」

調査報告

●忠類川崩落対策は流木の撤去や崩落しやすい箇所についての対策が講じられるが抜本的対策は難しいのが現状。

●標津川河口付近の古川汚泥処理は現在の事業所の排水と共に「ゆう水処理」され、汚泥の発生はないが古川の環境改善には国・道の支援が必要である。

●自立の道を選択した当町にとって国の財政構造改革による地方交付税をはじめとする財源の減少は容易な進路ではない。行財政改革を主眼に自立方策についてのプロジェクトを立ち上げました。

現在、課題や論点の整理作業を行っており四月頃を目途に町長に提言することとしています。

文教福祉

十一月八日に事務調査として町内視察を実施。

視察事項

- ●最終処分場（崎無異）
- ●薫別地区憩の家「まんさく」
- ●川北パークゴルフ場増設地
- ●標津川蛇行復元試験地
- ●標津漁港屋根付き岸壁、整備事業、海岸道路計画他

調査報告

●最終処分場（崎無異）着工平成十五年六月、竣工平成十六年七月、現在稼働中、漏水検知システムを導入、周辺の水環境の保全に万全を期し、最高水準の水処理技術で公共水域の汚染を防止し、資源の再利用と処分場の延命化が十分にうなずけた。

●薫別地区憩の家「まんさく」

福寿草の異名まんさく薫別老人クラブの愛称として使われている。平成十六年九月の完成、老人クラブの方々に喜ばれている。

●川北パークゴルフ場増設地

一段と広くなり、起伏も程良く傾斜している。愛好者の喜びが伝わってくるようでした。

決算審査報告

決算審査特別委員会は、次の意見を付し認定と決定いたしました。

一、地方財政は大幅な財源不足となり、危機的な状況となっている。町民の暮らしを守り住民福祉の向上を図りながら健全な財政運営を進めるために、自主財源である町民税・固定資産税・国民健康保険税・公営住宅使用料・貸付金・上下水道利用料等の確保強化は重要な課題である。納入方法・徴収体制など更に点検見直しを図り、滞納額の解消と現年度納入率の向上に強い姿勢をもって努力されたい。

二、決算年度における主要施策の成果説明書を提出されたい。

三、決算において多額な不要額が生じないよう適正な予算執行に努められたい。

決　　議

北方領土問題の解決促進に関する決議

我が国固有の領土である歯舞、色丹、国後、択捉の北方四島は、戦後59年を経た今日もなお返還が実現していないことは誠に遺憾なことである。

特に、来年2005年は、日ロ通好条約締結150周年の歴史的な節目の年に当たるとともに、昭和20年、当時のソ連邦が不法占拠して60年を迎える年でもある。更に、プーチン・ロシア大統領の訪日が予定されており、北方領土問題解決に向けて具体的な進展を期待しているところである。

よって、国においては、北方領土返還を求める国民の総意にこたえるため、強力な外交交渉により、北方領土返還の早期実現と日ロ平和条約を締結して、真の友好関係を確立されるよう強く求める。

陸上自衛隊駐屯地等削減反対に関する決議

北海道に配備されている陸上自衛隊は、我が国の防衛はもとより、北海道全体の安定的な発展に寄与しており、更には、国際貢献活動など常に我が国防衛の中心的な役割を果たしている。

このほど示された「新防衛計画大綱」は、防衛に加え大規模災害等緊急非常事態への対応及び国際協力を通して、より安定した安全保障環境の構築を掲げている。これを踏まえて、現行の防衛力規模及び機能の見直しを行い、体制強化や主要装備の削減及び国際協力の拡充に向けた装備体系と組織を改変する内容となっている。

新たな体制への移行に伴ない、駐屯地並びに分屯地の廃止や隊員の削減が行われた場合、近年多発する自然災害や地域の振興発展、地域経済に与える影響は計り知れないものがある。

特に、標津町においては陸上自衛隊標津沿岸監視隊として昭和32年に創設されて以来、災害時における自衛隊派遣や地域行事への協力など、地域との密接な信頼関係のもとに町づくりを進めてきた歴史がある。

自衛隊の平素の活動は、地域と地域住民の理解と協力支援なくしては成り立たないものであり、その期待と信頼に応えるよう努めるべきである。

よって、陸上自衛隊駐屯地等の廃止、削減に反対するとともに、「新防衛計画大綱」見直しに伴う影響に、最大限配慮されるよう強く要望する。

意　見　書

介護福祉士試験の見直しに関する意見書

厚生労働省の「介護福祉士試験の在り方等介護福祉士の質の向上に関する検討会報告書」によりますと、特に「介護福祉士の資格取得方法について、指定養成施設の卒業者が受験資格を取得する方法に統一することを検討する」となっていますが、このことについて強く再考をお願いいたします。

本報告書の受験資格になると、高等学校福祉科の生徒が介護福祉士の資格を得る機会を失うことになります。指摘されているように生活経験は未熟です。しかし、福祉科に入学してくる生徒は、将来は福祉に関する仕事に就きたいという目的意識の高い生徒がほとんどです。高校3年間で受験資格を得られることで頑張っています。

「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する意見書

平成17年3月に策定される新たな「食料・農業・農村基本計画」は今後の日本の食料・農業政策を大きく左右するものであるが、出されている課題が食料自給率の向上にどのように結びつくのか明確に示されていない。

BSEなどの食の不安がある現状を鑑みたとき、今こそ食の安全や環境問題に配慮した政策が必要であり、基本計画の見直しについては、食料・農業・農村基本法に基づき、「食料自給率の引き上げ、食の安全・安定に結びつく施策の展開」が図られる内容となるよう要望する。

教育基本法を堅持し教育の充実を求める意見書

教育基本法の改正にあたっては、「個人の尊厳」や「人格の完成」といった理念を大事にしつつ、いわゆる「愛国心」の問題については、国民や領土の他に統治機構の意味も包摂することから慎重な審議を行うこと。

憲法・教育基本法の理念を生かした教育施策の充実と「教育の機会均等」が保障されるよう必要な財政措置を今後も継続し、義務教育国庫負担制度についてはこれを堅持すること。

平成17年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書

平成16年度の地方交付税は理不尽にも大幅な削減が行われ、我々の国に対する信頼関係を損ねた。

よって平成17年度の地方交付税は、平成16年度の轍を踏まぬよう、国と地方の信頼関係の構築に努め、少なくとも平成16年度以上の総額を絶対確保するよう強く要望する。

議員の出欠状況 （平成15年度）

出席……○　　欠席……×

【定例会及び臨時会】 議員16人

年月日 / 氏名 / 議会名	小川(悠)	鈴木	安達	藤巻	石橋	木下	千葉	小川(祐)	吉田	田中	大圃	竹野	高橋	藤本	片岡	荒谷
15. 5. 8	第3回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15. 5. 26	第4回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16. 6. 18	第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15. 6. 19	第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15. 9. 18	第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
15. 9. 19	第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
15. 11. 18	第5回臨時会	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
15. 12. 18	第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15. 12. 19	第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
16. 1. 19	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
16. 3. 12	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
16. 3. 15	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16. 3. 19	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
16. 3. 31	第3回臨時会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【広報特別委員会】 委員4人

年月日 / 氏名	小川(悠)	藤巻	小川(祐)	吉田
15. 6. 17	○	○	○	○
15. 7. 14	○	○	○	○
15. 7. 22	○	○	○	○
15. 09. 19	○	○	○	○
15. 10. 10	○	○	×	○
15. 10. 20	○	○	○	○
15. 12. 19	○	○	○	○
16. 1. 16	○	○	○	○
16. 1. 26	○	○	○	○
16. 2. 24	○	○	○	○
16. 3. 19	○	○	○	○

【総務産業常任委員会】 委員8人

年月日 / 氏名	安達	小川(悠)	鈴木	千葉	吉田	大圃	藤本	高橋
15. 5. 26	○	○	○	○	○	○	○	○
15. 6. 10	○	○	○	○	○	○	○	○
15. 6. 23	○	○	○	○	○	○	○	○
15. 9. 8	○	○	○	○	○	○	×	○
15. 10. 8	○	○	○	○	○	○	×	○
15. 12. 11	○	○	○	○	○	×	○	○
16. 2. 24	○	○	○	○	○	×	○	○
16. 3. 19	○	○	○	○	○	○	×	○
16. 3. 31	○	○	○	○	○	○	○	○

【市町村合併調査特別委員会】 委員15人(議長を除く)

年月日 / 氏名	小川(悠)	鈴木	安達	藤巻	石橋	木下	千葉	小川(祐)	吉田	田中	大圃	竹野	高橋	藤本	片岡
15. 5. 8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15. 5. 26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15. 9. 9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
15. 11. 7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
15. 11. 14	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
15. 11. 28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
16. 1. 19	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
16. 2. 25	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
16. 3. 12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
16. 3. 31	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【決算審査特別委員会】 委員7人

年月日 / 氏名	鈴木	安達	石橋	高橋	片岡	小川(祐)	大圃
15. 10. 21	○	○	○	○	○	○	○
15. 10. 22	○	○	○	○	○	○	○
15. 10. 23	○	○	○	○	○	○	○
15. 11. 12	○	○	○	○	○	○	○
15. 11. 18	○	○	○	○	○	○	○

【文教福祉常任委員会】 委員7人

年月日 / 氏名	藤巻	石橋	木下	小川(祐)	片岡	竹野	田中
15. 5. 26	○	○	○	○	○	○	○
15. 6. 9	○	○	○	○	○	○	○
15. 9. 9	○	○	○	○	○	○	○
15. 10. 27	○	○	○	○	○	○	○
15. 12. 11	○	○	○	○	○	○	○
16. 2. 2	○	○	○	○	○	○	×
16. 2. 25	○	○	○	○	○	○	○
16. 3. 19	○	○	○	○	○	○	○

【議会運営委員会】 委員5人

年月日 / 氏名	小川(祐)	竹野	片岡	吉田	藤本
15. 5. 26	○	○	○	○	○
15. 6. 9	○	○	○	○	×
15. 9. 9	○	○	○	○	○
15. 10. 27	○	○	×	○	○

【議員定数調査特別委員会】 委員6人

年月日 / 氏名	小川(悠)	石橋	小川(祐)	高橋	木下	大圃
15. 6. 19	○	○	○	○	○	○
15. 9. 18	○	○	○	○	○	○

【予算審査特別委員会】 委員15人(議長を除く)

年月日 / 氏名	小川(悠)	鈴木	安達	藤巻	石橋	木下	千葉	小川(祐)	吉田	田中	大圃	竹野	高橋	藤本	片岡
16. 3. 16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
16. 3. 17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16. 3. 18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

編集室

▽今年は元旦より晴天が続き、何か平和を予感させます。成人式も素晴らしかった。これからの世代を担う若人の今後の活躍を期待します。（小川祐司）

・標津町議会ホームページ…http://www.shibetsutown.jp/
・お問い合わせ……shibetsu-people@shibetsutown.jp